

中学校 第3学年 道徳学習指導案

(1) 主 題 本当の思いやり

(2) ねらい 筆者の友達久保君の行為や気持ちを話し合うことを通して、本当の優しさについての考えを深め、思いやりの心をもって生活しようとする心情を高める。2-(2)

(3) 資 料 『佐賀のがばいばあちゃん』島田洋七 徳間文庫 2004年 PP.198-207)

(4) 学習過程

学習活動・学習内容	子どもの心の動き	指導上の留意点(評価)
1 友達に親切にした経験について想起する。 ・ 親切・思いやりに対する関心 ・ 学習課題 (10)	・ 保健室に連れて行くとよい ・ 宿題を見せるのは親切か? ・ いきなり言われてもなあ... ・ 忘れ物を貸したことはある ・ 親切にするのはなかなか難しいし、恥ずかしいよね。	友達が困っている場面絵を示したり、過去に友達に親切にした経験について想起させたりして、価値への関心を高め、本時の学習課題を掴ませる。
学習課題...親切・思いやりについての「自分なりの考え」を深めよう。		
2 資料を読んで話し合う。	・ 図書館に本があったよ。	短いVTR 後、資料提示。
発問1...久保君は、どんな気持ちからバットやボールを買ったのだろうか。		
・ 多様に思いを想像すること ・ 気持ち、思いの類別 ・ 自分との異同 (20)	・ 自分のためには使えない。 ・ 母は喜ばないに違いない。 ・ 部の後輩に使ってほしい。 ・ 野球道具なら皆にいい。 ・ 同級生には甘えられない。 ・ 同情はいらない。 ・ 家を空けられない。	まず、買った物を想像させ、関心を高めた後、買った気持ちをプリントに書かせ、話し合わせる。自分の経験や立場の置き換えから、一人ひとりの考えを深めさせる。
発問2...「本当の優しさ」とは、どんなことだと思いますか。		
・ 謝る(後悔の)気持ち ・ 自分なりの親切、思いやりの捉え (15)	・ 自分勝手なこと・お節介なことをして悪かった... ・ 親切の押し売りだったな。 ・ 私は、「本当の優しさとは(相手の気持ちをしっかり想像すること)だ」と思う。	謝った時の気持ちやがばいばあちゃんの言葉を想像させることで、親切・思いやりについての「自分なりの考え」を明確にさせる。

<p>3 自分の生活を振り返ってプリントに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくは(押しつけないこと)だと感じたな。 	<p>一人ひとりの考えを積極的に受容し、他に広げ、考えを深めさせる。</p>
<p>発問4... 自分なりの「本当の優しさ」をものさしに、導入で思い出した親切がどうだったか振り返って、考えたこと・感じたことをプリントに書いてください。また、今日の授業で考えたこと・感じたことも合わせて書きましょう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分なりの具体的な親切や思いやりの行動について考えること ・ 思いやりの心をもって生活しようとする気持ちの高まり <p>(10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の初めに思い出した親切は、お節介だったかもしれないな。 ・ 様々な思いやりや親切があるのだなと思った。 ・ それでも自分はなかなか思いやりがもてないかも... ・ これからは(も)、相手がどんな気持ちになるのか十分考えて行動したい。 	<p>時間があれば、同書 PP. 74-78の運動会の場面を紹介することで、親切、思いやりについての関心を一層高める。</p> <p>自分なりの具体的な親切や思いやりの行動について考えを深めようとしたか。(プリント)</p>

【板書計画】

授業の感想を書いてみましょう。

本相手の優しさとは

- (相手の気持ちをしっかりと考えること)
- (相手の気持ちを分かろうとすること)
- (押しつけないこと)
- (自分だけが喜ぶことをすること)
- (相手が喜ぶことをすること)

実際の生活に、家は空けられなないのxで同情

同級生に、家は空けられなないのxで同情

野球の道具は甘えられなないのxで同情

部活の先輩は使つてほしい

母の喜ばないには使えない

自分のためには使えない

映画のポスター

久保君はどんな気持ちからバットやボールを買ったのか

がばいばあちゃん 島田洋七(映画化)

思いやりについて「自分なりの考え」を深めよう。

親切にするのは案外難しい。恥ずかしい。

朝礼貧血
裁縫出血

宿題を見せる

保健室に連れて行く
忘れ物を貸す。
あまりない。